

サラダの上手な食べ方。

サラダは、どう食べるのか、少し困ってしまいませんか。
難しくはありません。

サラダを食べるとき、基本的にナイフは不要です。

フォークだけで食べます。

フォークを右手に持ち替えて、サラダを刺して食べます。

サラダは薄くてフォークにうまく刺さらないときは、サラダを2つ折りにしましょう。

分厚くなり、刺しやすくなります。

ドレッシングをかけて食べる場合は、一度軽くかき混ぜてから食べます。

ドレッシングが飛び散らないように注意しましょう。

サラダは柔らかいので、おおむねフォークだけで対応できるはずです。

・大きなサラダが出てきたとき

一口で入りきらないような、大きなサラダが出てくることがあります。

その場合、ナイフを使って小さく切ってから食べるようにします。

ただし、皿の中でサラダを切るのはマナー違反です。

サラダ用の皿は繊細であり、ナイフを使った際、底を傷つけてしまう場合があるからです。

取り皿に運んでから、切るようにしましょう。



☑ 給仕や料理人に喜ばれるテーブルマナー その13

右手にフォークを持ち替えて、サラダを食べる。